

## 宮崎県（所在地：宮崎県）

### 事業名 共生社会の実現に向けた生涯学習支援に係る実践研究事業

#### 事業の趣旨・目的

障がいの有無に関わらず、「誰もが共に学び、生きる共生社会」の実現に向けて、以下のことに取り組む。

- ・各地区の今後の取組を協議するための「コンソーシアムの形成」
- ・学習・体験プログラムや、支援学校卒業後の生涯学習を図る「実践研究」
- ・コンファレンスの実施などをとおした「普及啓発・情報提供」

#### 事業実施体制・連携先

##### 【コンソーシアム連携協議会構成員】

大学、専修学校、特別支援学校、PTA、社会福祉協議会、企業、当事者団体、家族団体、支援団体、市町村教育委員会、県障がい福祉課、県教育研修センター

##### 【コンソーシアム連携協議会の特色】

今後の事業展開を見据え、県内を3地区に分けて地区別に協議を実施

#### 事業内容

##### 【コンソーシアム連携協議会の実施】

7月、9月、11月、1月（コンファレンス）、2月

##### 【実践研究】

- 県内6団体による「取組の視点」に基づいた実践研究
  - ・障がい者本人の主体性
  - ・障がい児・者やその家族対象
  - ・生涯学習への意欲
  - ・他団体との連携
  - ・行政との連携
  - ・障がい者理解
  - ・人材育成を図る講習会
  - ・ピアサポート活動
  - ・働く意欲をもたせる仕事づくり
- 特別支援学校における学校卒業後の生涯学習への意欲向上を図る取組

##### 【普及啓発】

九州・沖縄ブロックコンファレンス開催、生涯学習課ウェブサイトへの紹介ページ作成、情報の一元化のための仕組みづくり

#### 研究の成果と課題

##### 【成果】

- ・推進体制を構築し、分野・立場を超えて地区別に展開方策を検討
- ・視点の異なる6団体で研究を行い、コンファレンスや連携協議会においてその成果を共有
- ・市町村人権教育担当者へ、障がい者の生涯学習の視点で研修会を実施
- ・テレビ、ラジオ、SNS、広報誌等、多様な情報発信方法を試行
- ・ブロックコンファレンスに約160名参加（教育関係者約50%、福祉関係者約25%、学生約10%）、事後アンケートでの満足度約95%

##### 【課題】

- ・市町村の理解促進、市町村（社会教育施設含む）が行う既存の講座等に共生社会の視点を追加（R4:市町村公民館担当者への理解促進）
- ・県内で行われている多様な取組についての情報収集と一元化して発信
- ・本事業の県民への周知方法（R4:今後メディア等の活用方法を検討）

#### その他研究の詳細など

宮崎県生涯学習課HP「みやざき学び応援ネット」

みやざき学び応援ネット

新生涯学習総合情報提供システム



<https://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp>



連携協議会の様子



民間団体と行政が連携した取組



コンファレンスの様子